

スポーツ庁 御中

スポーツによるグローバルコンテンツ創出事業事務局 御中

スポーツによるグローバルコンテンツ創出事業

TOKYO SPORTS WORKATION

伊豆大島サイクルワーケーション

実施報告書

2022/02/04

株式会社マインドシェア

1 事業概要	
1-1 取組の概要	……3
1-2 現状の課題	……4
1-3 本事業で達成したい到達点	……5
1-4 具体性および計画性	……6
1-5 地域性	……7
1-6 将来性	……8
1-7 感染症対策	……9
1-8 効果および継続性	……10
2 実施概要	
2-1 実証実験（モニターツアー）のプランニング	……12
2-2 体制図 ～地元プレイヤーとの連携、調整～	……13
2-3 効果検証方法の確定 ～実施調査概要～	……14
2-4 募集概要	……15
2-5 交流イベント	……16
3 実施調査、分析	
3-1 モニターツアー応募者アンケート	……18-28
3-2 ツアー参加者 対面ヒアリング	……29
3-3 ツアー参加者アンケート（ツアー終了後）	……30-40
3-4 事業者アンケート	……41
3-5 事業総括	……42-43

1 事業概要

TOKYO SPORTS WORKATION 構想

大都市と大自然が共存する東京を世界レベルのスポーツワーケーションスポットに！

東京の様々なエリアにふさわしいスポーツワーケーションを開発、それを束ねて国内外に向け展開

TOKYO SPORTS WORKATION

- ▶ 伊豆大島“サイクル”ワーケーション
- ▶ 新島“サーフスポーツ”ワーケーション
- ▶ 奥多摩“アウトドアスポーツ”ワーケーション



国内外ワーカー

好きなスポーツでプランを選ぶ。
1ヶ月～利用前提の会員制定額サービス。
趣味で地域とつながり関係を深めていく、
第2のホームが手に入る！

世界に通用するコンテンツづくりのための両輪体制

- 地域**
- ・サービス体験提供の主体
 - ・地域の様々な事業者巻き込み
 - ・地域住民の協力要請



- 民間**
- ・ワーカー側ニーズ把握やBtoB販路の活用
 - ・グローバルへの発信/販売
 - ・持続可能な取り組みのためのビジネス化

地域×民間

地域だけでも民間だけでも実行できない、両輪だからこそ達成可能な構想

“サイクリング”を通じて、
地域とワーカーの新たな関係性を創造する
「伊豆大島サイクルワーケーション事業」



「サイクリングを通じた地域活性化」

課題 1

地域資源とスポーツを掛け合わせたスポーツツーリズムの拡大

伊豆大島のポテンシャルは極めて高い。ロードバイクの日本選手権や世界大会が開かれ国内外の自転車乗り知られた聖地であり、日本唯一の「砂漠」があり、2010年ユネスコによるジオパーク認定を受けるなど、その自然も世界に通用する。**地域資源とスポーツを掛け合わせたスポーツツーリズムの拡大に向け、スポーツワーケーションの取り組みにて、国内外のワーカーを魅きつけるグローバル水準のコンテンツが開発&運営できるかを検証する。**

課題 2

伊豆大島の経済的な自立

地域にとって単なる宿泊予約サービスの充実ではなく、地域の経済的な自立に繋げることができるか？地域にとっては新たな収入源につながるが、一方で追加の手間が生まれることにもなる。**サイクルワーケーションを通じて、地域の継続的な収入源にするために、地域に今後も長く協力いただける取り組み内容となっているかの検証が必要。**

課題 3

交流人口の拡大と地域コミュニティの形成・強化

単なる泊まり放題、ワークスペースの使い放題サービスに留まらず、本事業で、地域交流人口の拡大のため、地域住民と国内外のワーカーの交流を作り出し、地域コミュニティの強化ができるか？そのために、**サイクリングを通じて、国内外のワーカーと地元住民の交流を生み出すことができるかが重要な課題。**

日本人&在日外国人ワーカー計14人の有料モニター会員を募集。サービス体験を通して下記課題を検証する。

- POINT 1「少額でも有料にすることでコミットメントを高める！」
- POINT 2「モニター会員期間 1週間/1ヶ月の2パターン検証！」

課題 1	グローバル水準のコンテンツを伊豆大島で開発できるのか？	参加ワーカーのツアー満足度／今後の継続利用意向ともに80%以上
課題 2	地元プレイヤーにメリットを感じてもらえるのか？	ツアー協力ホテルなど地元ステークホルダーの今後協力意向80%以上
課題 3	地元住民と国内外のワーカーの交流を作り出せるか？	ワーカーと住民の交流イベント実施。その後住民と意見交換会を実施

主な訴求対象・ターゲット：**サイクリングを趣味としている30-40代ワーカー（日本人・外国人ともに同じ“価値観”でターゲティング）**

- 1 働く場所を自分の意思で自由にデザインしたいしできる立場にある。 ex.フリーランス・個人事業主・経営者／IT企業・先進企業会社員
- 2 同世代の中では高収入で、趣味にはお金を惜しまない。自転車以外にも料理やファッション、旅などが好き。
- 3 昔はバックパッカーをやっていたこともあり、単なる観光よりも地元の方と深く繋がるような旅のスタイルが好き。

日本人ターゲット特有のインサイト コロナを機に都心を離れて趣味も仕事も両立できる生活に憧れ始めているが、移住までは踏み切れない。

ターゲットに対して有益な点

- ・**仕事と、趣味のサイクリングを両立**する生活環境が手に入る。
- ・短期観光ではなくスポーツを通じた長期滞在型ワーケーションのため、**地元住民との交流ができ、第2のホームタウン**が手に入る。
- ・**国内外のワーカーとサイクリングを軸に繋がる**ことができる。
- ・決められた1箇所での滞在ではなく、自身の状況に応じて、**大島内の様々な宿泊施設に宿泊が可能**になる。

地域特有の資源を活かす工夫

伊豆大島は、ロードバイクの日本選手権や世界大会が開かれる国内外の**自転車乗り**に知られた**聖地**。また日本唯一の「砂漠」があり、**2010年ユネスコによるジオパーク認定**を受けるなど、その自然も世界に通用する地域資源をとっている。その地域資源を楽しみながら走れる高低差400～500mの本格的な自転車コースから、温泉、絶景スポット、直売所などを楽しめる気軽なコースまで、**幅広く楽しめるサイクリング環境**が提供できる。

伊豆大島は**人口7300人の島**にもかかわらず、宿泊施設の数が多く**島全部で2500人/日の宿泊キャパ**を持っているが、**1日あたりの宿泊者数は440人**とキャパには大きな余裕があり、**空室（特に平日が多いと推測）の活用が課題**となっているため、スポーツワーケーションにより、平日の宿泊ニーズを拡大させる。



国内外のワーカーに魅力的な、グローバルで通用するサイクルワーケーションは伊豆大島の資源でしかできない事業となっている

地域住民との連携や地域住民にも活用できる工夫

地域のホテルやワークスペースの平日の空室を活用することで、**地域経済に貢献**していく。

「大島観光協会」「NPO法人kichi」を中心に地域住民や地域事業者との連携を推進。**国内外のワーカーとの交流イベント**等で新たな関係性をつくっていく。



東京の様々なエリアにふさわしいスポーツワーケーションを開発し、国内外に向け展開する**TOKYO SPORTS WORKATION 構想**：国内外ワーカーに向け、趣味で地域とつながり関係を深める、伊豆大島での“サイクル”ワーケーションを皮切りに、新島での“サーフスポーツ”ワーケーションや、奥多摩での“アウトドアスポーツ”ワーケーションへの展開を想定。

グローバルコンテンツ組成のために、**日本と海外の外国人のニーズ把握に長けた在日外国人をモニターに採用し、特に日本の地域に興味のある外国人の意見を取り入れ**商品をブラッシュアップしていく。

JTB海外支店でのインバウンドサイクルワーケーション商品としての販売強化や、**博報堂のメディアネットワークを活用した海外向けの情報発信強化**を実施する

事業実施におけるコロナ感染症予防対策ガイドラインの作成実施

観光施設、旅行業界等様々な団体がそれぞれで作成しているコロナ感染症予防対策ガイドラインを基本とし、当事業で実施する滞在型のワーケーションにあわせてマニュアルを作成予定。マニュアルについては「現時点において必要と考えられる対策を例示したもの」をまとめ、今後も最新の新型コロナウイルスの予防に係る専門家の知見、宿泊客の要望、事業者側の受入環境等を踏まえて必要な見直しを行っていき、同様に実施していくことを想定。

顧客情報を常に把握することで透明性と追跡性を確保

サービス利用のために要会員登録とし、どの宿に会員がいつ宿泊しているかを把握。不特定多数を送客する薄利多売の旅ビジネスではなく、深い関係性を築く定額制のコミュニティビジネスのため、顧客状況を常に把握可能。

来島の主な交通手段となる東海汽船(株)との連携

東海汽船が実施している感染症対策を全ての利用者に案内し、正しく対応してもらうよう促していく。

効果検証方法

- 課題 1 **グローバル水準のコンテンツを伊豆大島で開発できるのか？**
- ・地元のキーマンと連携し、伊豆大島の自然資源が堪能できるサイクリングスポットを紹介し参加者に意見を伺う。
 - ・サイクルワーケーションの実証を行い、参加者と伊豆大島の事業者、キーマンとなる方々にヒアリングを実施。

- 課題 2 **地元プレイヤーにメリットを感じてもらえるのか？**
- 今回協力いただいた宿泊施設、連携事業者にヒアリングを実施。

- 課題 3 **地元住民と国内外のワーカーの交流を作り出せるか？**
- 地域交流イベントを実施し、参加者と伊豆大島の事業者、キーマンとなる方々にヒアリングを実施

2 実施概要

プログラムの概要

サイクリング/ロードバイクを趣味としているビジネスパーソン向けのスポーツワーケーションプログラム「WithWorkサイクリング」。閑散期の宿泊施設の空室を活用し、10日間および25日間の長期滞在を設定する。

ユーザーは本プロジェクト提携ホテルの中から好きなホテルを選び、自由に泊まりながら、仕事をしながら、生活の中で自転車を楽しむことができる。

WithWorkユーザー会員は事務局での審査を通った優良会員のみとし、島や住民の方と良好で長期的な関係が築けることを目指す。



【モニターツアー概要】

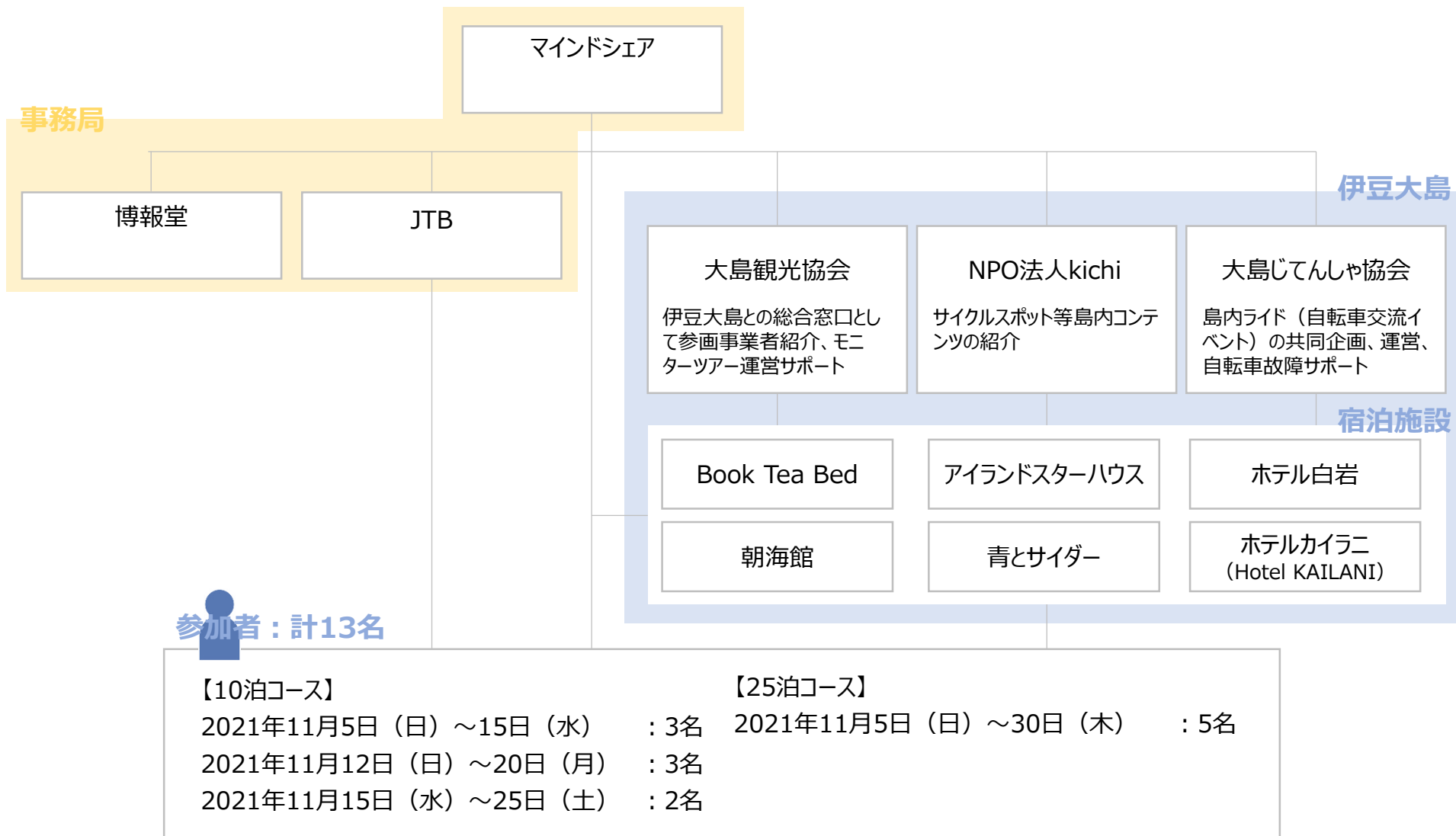
- 10泊か25泊のプランに参加いただくことで、ただサイクルワーケーションを楽しむだけではなく、観光に訪れるだけでは得られない、地域との中長期的なつながりが生まれるか検証
- テレワークへの負担を考慮し、弊社側で予め指定した施設で5連泊していただき、業務に支障が出ない日程での滞在中の地域交流イベントを企画
- ヒルクライム大会が行われるほど起伏が激しい箇所がある島内では、難易度別のサイクリングコースを紹介

モニターツアー参加希望者の募集要件

- ・20歳以上の自転車好き有職者
- ・10泊滞在/25泊滞在プランに参加可能な方
- ・自分の自転車を持ち、輪行袋に自転車を収納できる方

地元事業者との連携

- 地元交流イベント（参加希望者のみ）
 - ①参加者と地元民との交流を図る「BBQパーティ」
 - ②島内ライド：「大島じてんしゃ協会」の寺本様のご案内により実施。
- テレワークサポート
テレワークが可能なカフェ等やコピー/FAX対応施設等との連携し参加者の快適なワーケーションをフォローアップ。



実施調査 種別概要

実施調査種別	調査主旨・概要	実施日	実施場所	サンプル数
1) モニターツアー応募者アンケート	参加者の基本属性やモニターツアーへの応募動機、伊豆大島、ワーケーションへの興味度等を把握し、本事業の有効性について基礎データを獲得する。	ツアー応募時 (10/1～15)	オンライン	169
2) ツアー参加者 対面ヒアリング (ツアー中)	参加者の記憶が新しいタイミングかつ現地での“生の声”を獲得することで、スポーツワーケーションの実感を把握する。	11/12・13 11/21・22	参加者の 宿泊先	13
3) ツアー参加者アンケート (ツアー終了後)	ツアーの行程が全て終了した後に実施することで、対面ヒアリング後の意見の変化や、ツアー全体の満足度を把握する。	11/29 ～12/10	オンライン	13
4) 連携事業者ヒアリング (宿泊事業者)	受入側となる伊豆大島の各事業者に対して、モニターツアーの成果を把握するとともに、実績の共有化による事後展開の改善に活用する。	11/21・22	各宿泊場所	5

参加者募集期間

2021年10月1日（月）～ 10月15日（金）

募集方法

Facebook広告およびプレスリリースから専用Webサイトへ、
会員登録を経てモニターツアーの応募フォームへ誘導

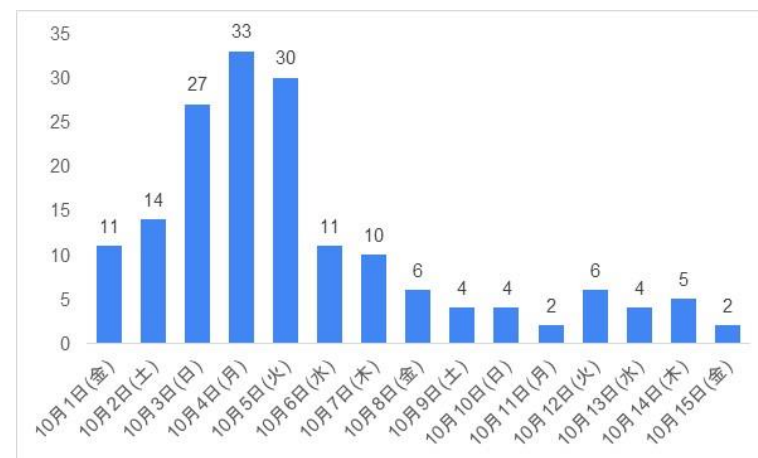
【募集窓口】

- ・FB広告 : 10/1～10/7間に出稿
- ・プレスリリース : モニターツアー参加者の募集告知と専用HPのURLを記載
- ・その他 : 各種インターネットメディア、SNSで取り上げられる



募集結果：応募総数156件

- ・156名の応募（倍率は約14倍）があり、13名がモニターツアーに参加（うち3名が在日外国人）
- ・参加者は、競技的にサイクリングに取り組んでいる方、普段からポタリングを行っている方、コロナ渦をきっかけに自転車を始めた方など様々なレベルの方が参加
- ・全参加者が地域交流イベントに参加できるよう、地域交流食事会と島内グループライドを各2回ずつ企画、実施（地域交流食事会は天候不良により1回中止）



2-9-1 懇親BBQ

- ・概要 : モニターツアー参加者と地元の方との交流のきっかけづくりとなる、任意参加のイベントを実施。
- ・実施日 : 2021年11月13日(土) ※11月22日(月)は天候不良のため中止
- ・実施場所 : 朝海館
- ・参加者 : モニター11名、島内事業者5名、事務局2名
- ・成果 : イベントを実施したことによりモニターと事業者間で交流のきっかけの場となり、事業者から地元のおすすめスポットの紹介やその後の島内滞在中のサポートが受けやすくなったとのご意見をいただきました。
また、それぞれ別の日程で参加していた参加者同士が初めて顔を合わせる場となり、同じ趣味を持つ方同士の交流のきっかけにもなっていた。



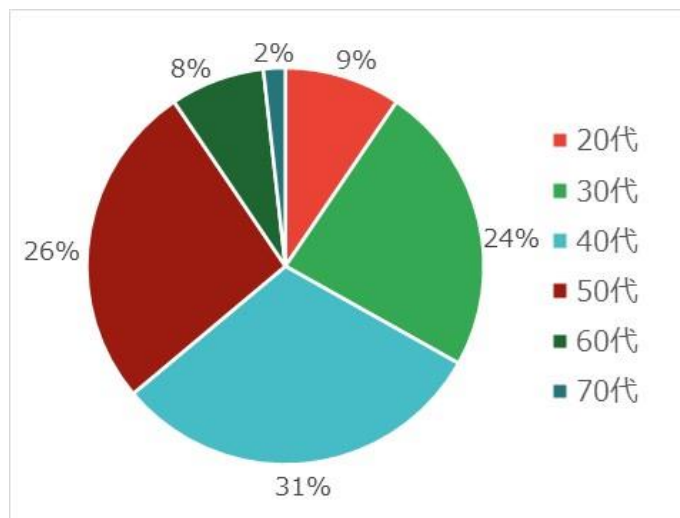
2-9-2 島内ライド

- ・概要 : 伊豆大島のサイクルイベントにも携わる大島じてんしゃ協会との伊豆大島一周サイクリングを実施。
- ・実施日 : 2021年11月14日(日)、11月23日(火)
- ・参加者 : 11月14日8名、11月23日5名、大島じてんしゃ協会1名(両日)
- ・成果 : 島内一周サイクリングコースを、途中休憩を挟みながらグループライド。モニターツアー参加前は一人でサイクリングした方が多く、グループライドには興味があっても参加できていなかった方にとって貴重な体験になったとの意見をいただいた。

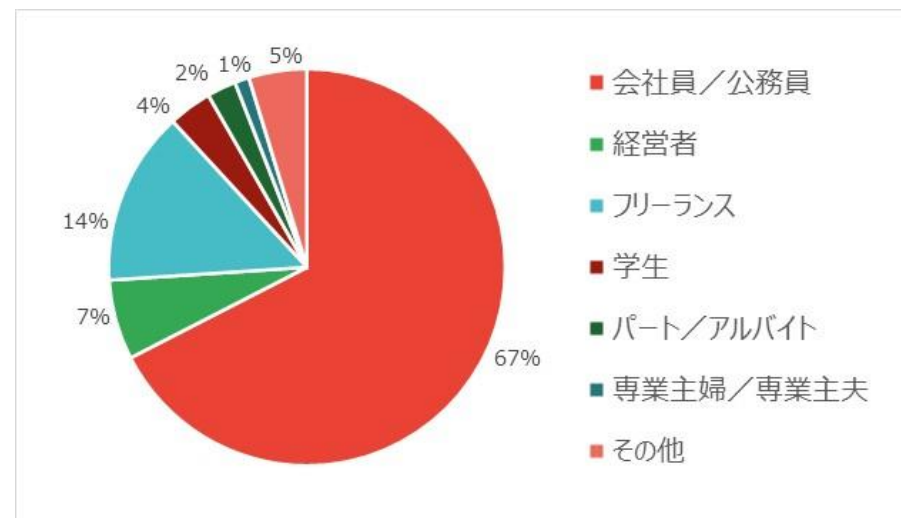


3 実施調査、分析

■年代別



■職業別



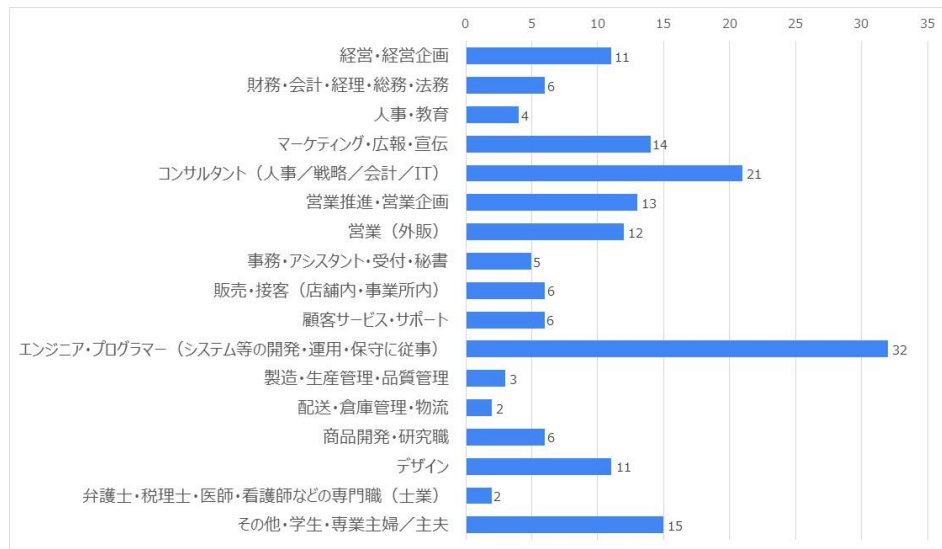
■「その他」の回答（8件）

自営業（マッサージセラピスト）、年金生活者、無職（ライター）、カナダのオンライン学生兼会社員、団体職員、複業家、サラリーマン兼個人事業主、漫画家、年内は会社員/年明けからフリーランス

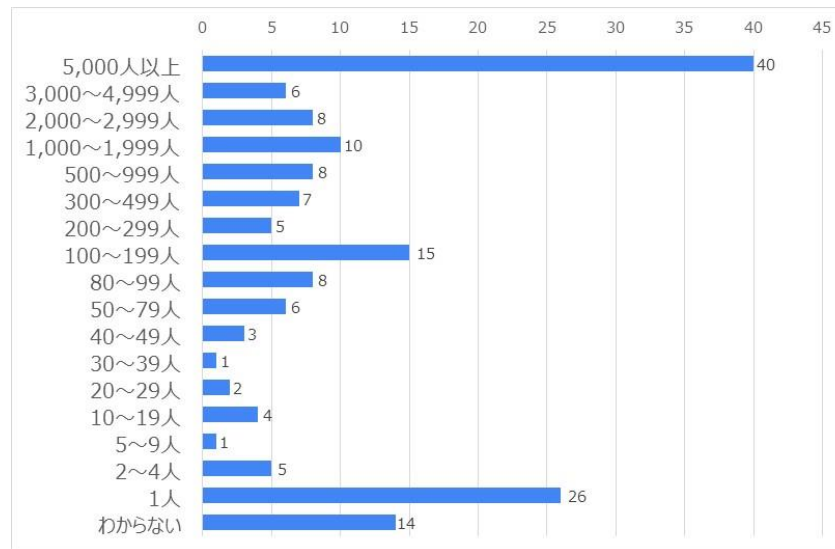
年代別では「40代」が最も多く、次いで「50代」、「30代」と続き、「30代～50代」で全体の80%を占めている。

職業別では「会社員/公務員」が67%と最も多く、全体の2/3を占めており、「フリーランス」の14%を大きく上回っている。

■ 職種別



■ 従業員規模別

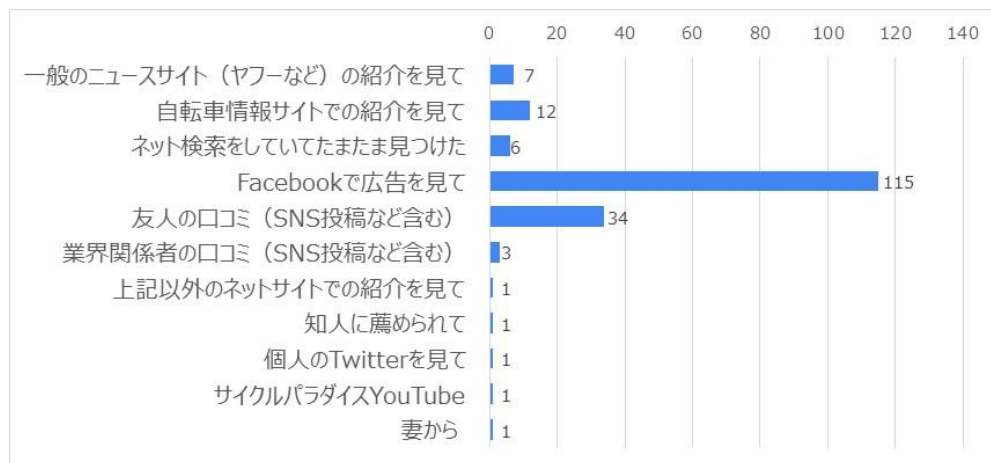


職種別では「エンジニア・プログラマー（システム等の開発・運用・保守に従事）」が最も多く、「コンサルタント（人事/戦略/会計/IT）」、「その他・学生・専業主婦/主夫」、「マーケティング・広報・宣伝」と続く。

従業員規模別では「5,000人以上」が最も多く、次いで「1人」、「100~199人」が続く。これは以下のような仮説が見込まれるかもしれない。

- > 5,000人以上 → テレワーク体制が整備されている
- > 1人 → 時間を自己コントロールしやすい
- > 100~199人 → 新興企業や新鋭企業規模で元来テレワークが導入されている

■あなたがWithWorkを知ったきっかけは何ですか？【MA】

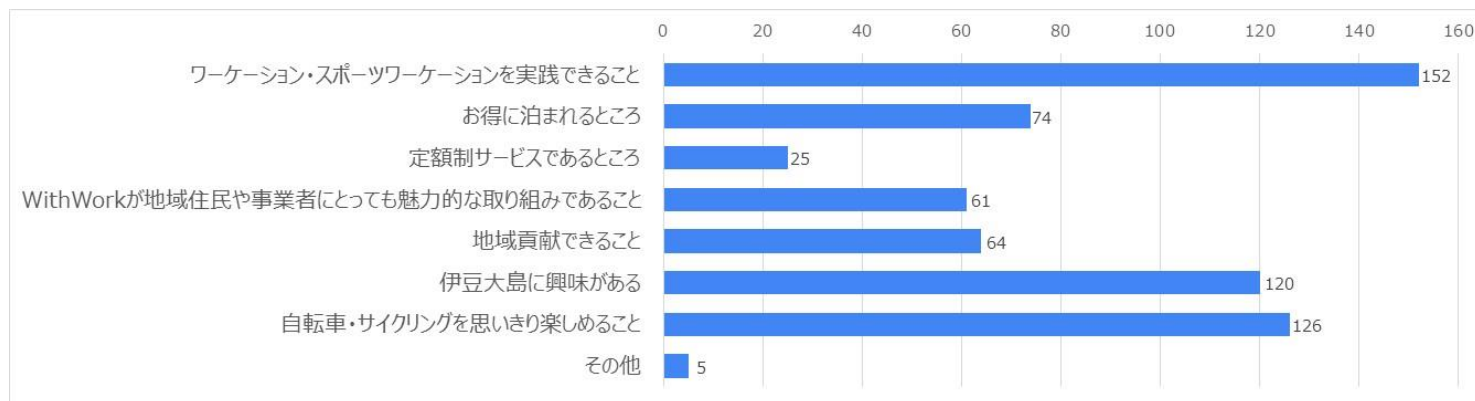


今回のモニターツアー情報を知ったきっかけは、「Facebookで広告を見て」が最も多く、Facebook広告の効果がみてとれる。次いで多い「友人口コミ（SNS投稿など含む）」もFacebook広告の効果であることは、応募者のコメントからもうかがえる。

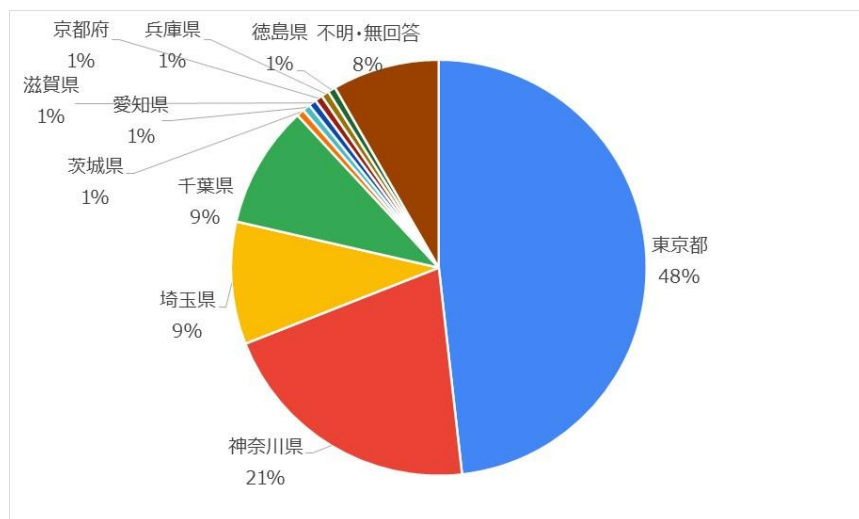
興味を示した項目では、「ワーケーション・スポーツワーケーションを实践できること」、「自転車・サイクリングを思いきり楽しめること」、「伊豆大島に興味がある」が上位3位となっている。

今回の事業の構成要素である“ワーケーション＋自転車＋伊豆大島”に反応を示す結果となった。

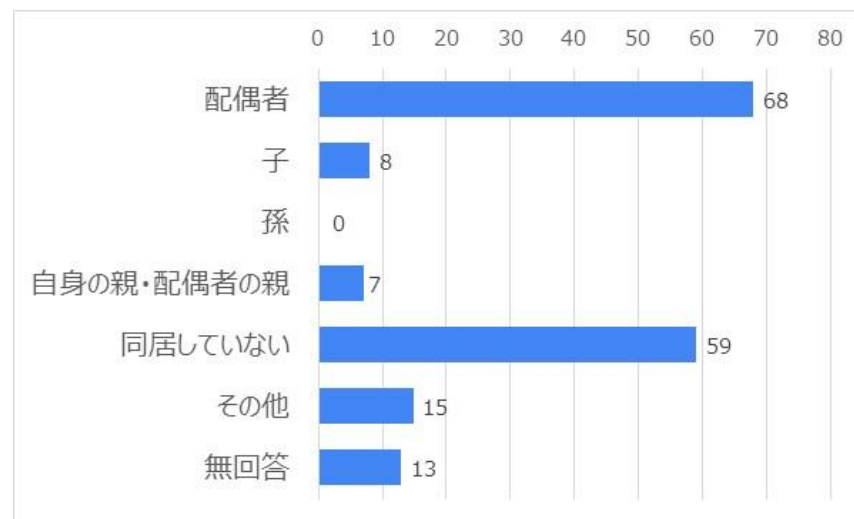
■あなたはWithWorkのどんなところに興味を持ちましたか？【MA】



■ 応募者の住所別



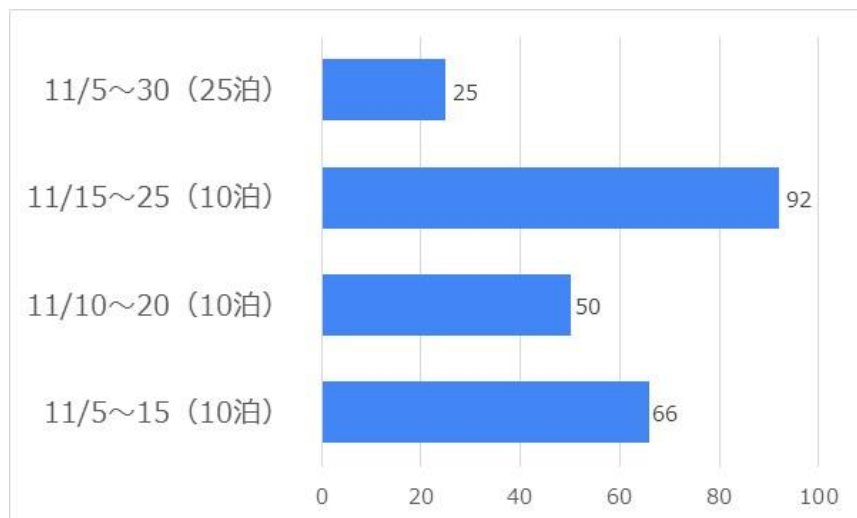
■ 同居の家族



応募者の住所で最も多かったのは「東京」で、約半数（48%）を占める。次いで「神奈川県」、「埼玉県」、「千葉県」となっており、この首都圏3都県で9割近くを占める。

同居の家族では、「配偶者」のみと「同居していない」が突出しており、今回の所要期間である10泊もしくは25泊を考慮すると、比較的自由度の高い背景を有している応募者が多かったであろう。

■ 希望する日程コース【MA】

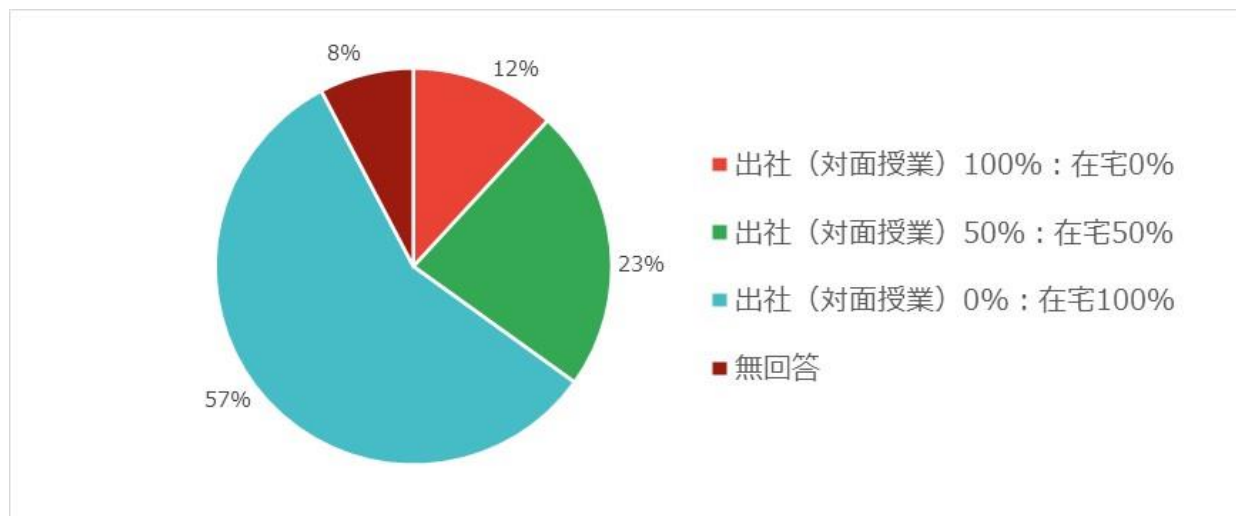


希望する日程では、「11/15~25 (10泊)」が最も多く、続いて「11/5~15 (10泊)」、「11/10~20 (10泊)」、「11/5~30 (25泊)」となった。

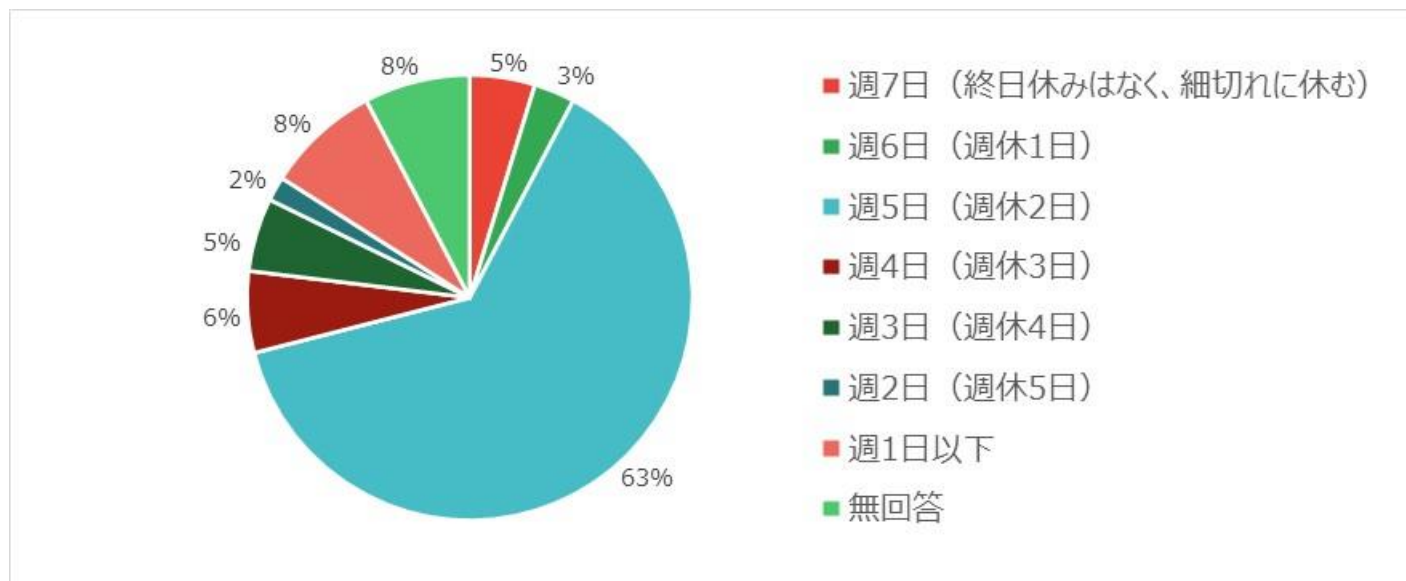
応募期間が「10/1~15」であったことから、およそ1か月後程度の猶予が必要だったことや、サイクルイベント「伊豆大島 御神火ライド2021 (11/21開催)」が影響しているのかもしれない。

応募者の現在の出社と在宅ワークの比率では、「100%在宅ワーク」の方が57%であった。次いで「出社/在宅比率が半々」が続き、双方で80%であった。

■ 現在のあなたの「出社と在宅ワークの比率」についてお答えください。【SA】



■ 現在、あなたは週何日程度勤務されていますか。当てはまるものを一つ選んでください。



応募者の週当たりの勤務日数では、「週5日 (週休2日)」が最も多かった。基本的な就業日数の方が多いものの、その背景にあるテレワーク体制の有無や環境等といった実態が、前述の回答でも見て取れる。

モニターツアーに応募した理由・動機や、応募に対する思いなど【FA】（1/4） ※抜粋

「伊豆大島」への興味（14件）

- ・伊豆大島好きだから
- ・伊豆大島に行ってみたかった
- ・伊豆大島で自転車も乗りたいですが、釣りも好きなのでそちらも楽しんでみたい。
- ・大島に一泊だけ行ったが自然の豊かさ、日本の原風景のような町が魅力的であったから、ゆっくり滞在したい
- ・大島は大型船の夜行日帰りで行ったり、家族でキャンプしたり、親しみがある。
- ・大島には以前から興味があり、とても魅力的な話をを行った事のある方から聞きやほり行ってみたい事にはわからないと思い、応募しました。特に大島ガラスに興味があります。
- ・フィルムカメラで美しい自然をたくさん写真に収めたいです。
- ・昨年、初めて伊豆大島に行った時、東京から数時間で綺麗な山や海、砂漠がありアウトドア派な自分には楽しい場所だと感じました。
- ・伊豆大島で自然をフルに体感し、伊豆大島の素晴らしさをメディアで発信したいと思った

「伊豆大島」と「ワーケーション」（テレワーク含む）への興味（16件）

- ・伊豆大島の自然を満喫しながら仕事をしてみたいです！
- ・伊豆大島にある、大きな地層を以前は見て大地の歴史を感じる場所で滞在したいと感じていました。島は独特の風土文化があり、働きながら体を動かし体感してみたいと思っています。
- ・大島には昨年も2度シュノーケリングやサイクリングで訪問しており自然の良さを実感しています。長期滞在でワーケーションを体験してみたいと以前から考えていたタイミングでこの案内があったので。
- ・ワーケーションの可能性を伊豆大島で試したい
- ・千葉県のカイクルーツリズム等での地方創生のお手伝いをさせていただいております。今年9月に初めて伊豆大島に行き、自然の雄大さに非常に感動しました。スポーツワーケーションのお手伝いができればとおもいます。よろしくお願ひします。
- ・長期間ワーケーションできる場所を探していました！また私は教育関係者ですが、以前生徒たちが伊豆大島にボランティアに行き、雄大な自然やホースセラピー、椿の収穫、何より現地の方々のあたたかさ感激して帰ってきたこともあり、ぜひ一度訪れてみたい場所でした！
- ・仕事がテレワークの為、島でのワーケーションをしようと思っていましたが、コロナもありなかなか実行に移せていなかったため良い機会だと思って参加申し込みをしました。
- ・中長期的な移住やワーケーションの検討、来春の東京マラソンに出場を予定しており、働きながらそのトレーニングに没頭できる環境も得られること。
- ・兼ねてから伊豆大島に興味がありワーケーションの可能性を模索していた所、ちょうどこちらのツアーを目にしました。
- ・現在、私は大学の授業をオンラインで受講しており、日々の生活が家の中で完結してしまうため、リフレッシュすることが難しいと感じています。そのため、自然豊かな環境下で日々を過ごすことで充実感を得ながら生活したいと思い、このツアーに応募しました。

モニターツアーに応募した理由・動機や、応募に対する思いなど【FA】(2/4) ※抜粋

「伊豆大島」と「サイクリング」への興味 (12件)

- ・子供の頃訪問した大島を趣味で始めたサイクリングで再訪問したい
- ・自転車を愛していること、今年伊豆大島遠征を考えていたがコロナで断念したこと。また、会社の新事業提案で、週3日間の田舎生活プロジェクトを提案していること
- ・私はトライアスロンに挑戦しながら日々楽しく身体を動かす生活に幸せを感じています。ここ数年はコロナ禍で、さまざまな事が制限され窮屈な生活をされていた方も多くいるかもしれませんが、そのような中でも私はサイクリングという楽しみがあり、サイクリングは仲間同士で連れ立って行っても確実にソーシャルディスタンスがとれますし、自然の中人混みを避け、楽しむことができました。レジャー感覚で身体を動かしその土地の感触を感じる素晴らしさを発信したいと思っています。訪れた土地を車で回るのではなく、自転車や自分の足で回って発見できるものがたくさんあります！
- ・好きな事をしながら地域交流が魅力的に思えたため
- ・仕事しながら自転車乗るのに丁度よい規模感の島だから。
- ・伊豆大島の御神火ライドに行きたいと思っていましたが、レースよりどちらかというのんびり自分のペースでサイクリングしたかったので。
- ・過去にもサイクリングで伊豆大島にいったことがあるため。
- ・自転車も伊豆大島も地元の方々との交流も好きだからです。
- ・ずっと伊豆大島に行ってみたいと思っていました。サイクリングは趣味で、色々な宿(ゲストハウス)を利用出来ることもかなり魅力的でした。サイクリングで島を走ることも去ることながら、島の方との出会いが一番の楽しみです。。これを機に島への移住等も検討することもあるかと思います。素晴らしい企画に心より感謝しております。
- ・大好きな伊豆大島でロードバイクを楽しみたい
- ・伊豆大島の自然が好きでまた行ってみたい

モニターツアーに応募した理由・動機や、応募に対する思いなど【FA】（3/4） ※抜粋

「伊豆大島」と「ワーケーション」（テレワーク含む）、「サイクリング」への興味（43件）

- ・実走練習に恵まれた環境であり、仕事も在宅体制ができ10日なら支障が無いこと。
- ・先月、初めて伊豆大島へ行きロードバイクでヒルクライム、三原山お鉢まわりをトレランしたりととても充実した日々を送れました。仕事しながら趣味も楽しめる環境に身を置いてみたいためこの度応募させて頂きました。
- ・伊豆大島でのワーケーションに興味があった事と自転車を使ったモニターというものにも興味があったから。
- ・国内離島、本州などを自転車で巡っていた経験もあり機会があれば離島テレワークをやってみたいと思っていた。
- ・今年からワーケーションを始めて、年末からはアドレスホッパーになることを計画中で、今後利用するサービスの候補となると考えたため。また、スキー・スキューバダイビング・サイクリングが趣味で、ワーケーション先でスポーツしてきたので、サービスのコンセプトと自分の生き方が近いと感じたため。
- ・自転車歴5年で、今年コロナが無ければ伊豆大島への遠征を計画していた。会社の新事業企画提案にも、ワーケーションを提案しており関心が高い
- ・毎年プライベートで伊豆七島に伺っており、今年は三宅島、御蔵島に行きました。伊豆七島旅行のきっかけとなった大島で、趣味であるポタリングを楽しみながらワーケーションができる企画とのこと応募しました。
- ・たまたまface bookの広告を拝見したので応募したいと思いました。最近、テレワークで運動不足になり、運動のためにもと自転車を買ったばかりなので、ぜひ参加したいです。
- ・在宅になって時間の使い方の感覚が変わり、自転車が行く場所の可能性を広げてくれました。先日九州の地元での在宅ワークも無理なく行えたことから将来の働く場所の可能性を色々試してみたくなりました。
- ・教員から転職し、時間に融通がきくようになったので、趣味も仕事も楽しみたいと思っているので。またサイクリングの聖地の大島にずっと行きたいと思っていたため。
- ・ワーケーションに興味がありましたが、なかなか実行に移せなかったところでしたが、今回の記事を見て、自転車好きの仲間が集まって、ワーケーション&自転車を行える良い機会だと思って応募しました。
- ・海、島、旅が好きで最近サイクリングを始めただけ。元トラベルライターなので、これをきっかけにまたブログ等で情報発信をしていきたいと思ったから。
- ・伊豆半島でのサイクリング経験あり、大島は何回も行こうと思っていた。ワークライフバランスを身につける為最高の機会。
- ・もともと伊豆大島でのサイクリングに興味があって行きたいと思っていたのと、リモートワークが長くなり移住もしくは2拠点生活を検討中で、その拠点を探しているの、その点も含めて暮らすように旅をしてみたいと思い応募いたしました。

「サイクリング」&「ワーケーション」への興味（12件）

- ・サイクリングのできる場所でのリモートワークを検討していましたがきっかけがなく躊躇していました。非常に良い機会だと思い応募させていただきます！
- ・在宅勤務が長く、趣味を楽しめる環境で斬新なりモトワークの方法を是非生活に取り入れたいと思った
- ・旅行先に長期滞在してワークすることに大変興味があり、ビジネスとしても個人的趣味嗜好としても面白い取り組みだと思っており、今回モニター募集とのこと応募いたしました。
- ・毎週ロングライドしており、どうせ在宅ワークならどこかでワーケーションしながら平日もロードバイクで走りたいと思っていました。歳を重ねるごとにどうしても二の足を踏んでしまうので、こういった企画をきっかけに新しい体験をしたいと思っております。
- ・話題のワーケーションに興味はあるものの挑戦できずにいたので、良い機会と思い応募しました。日常から離れ、思いっきり自然とロードバイクを楽しみたいと思います。

モニターツアーに応募した理由・動機や、応募に対する思いなど【FA】（4/4） ※抜粋

「ワーケーション」（テレワーク含む）への興味（23件）

- ・ワーケーションに興味があります。ほぼ100%リモートワークになった今、新しいワーク・ライフバランスを体験したいと思います。その、考えるものと実際の体験とに違いはあるのか？を知りたいです。
- ・お得にワーケーションできるところを探していた。
- ・地方創生に関する業務を行ったことがあり、地方暮らしに魅力を感じているため
- ・ずっと同じような環境にいたので、息抜きをしたいのと、それとワーケーションの実現性を確かめてみたいと、応募しました。
- ・もともとトリアスロンが趣味であることと、テレワーク向けの開発ソリューションの実用性を検証してみたいことから。
- ・仕事にも取り組みつつ、柔軟な発想が生まれることを期待。
- ・完全在宅勤務が1年半を超え、ワーケーションが仕事や生活の質を上げることにどのように役立つかに興味があります。
- ・仕事に影響のない無理ない範囲で、色々な仕事環境を利用させていただき、場所に依存しない仕事を楽みたいです。

「サイクリング」への興味（10件）

- ・自転車を人生の中心にしていきたい
- ・都内に住んでいると中々平日乗れないのが悩みですが、思い切り乗りまくりながら今後の生き方を考えたいです。
- ・ロードバイクを持って旅行に行くのが好きだったのですが、コロナ禍でその機会がなくなっていました。ちょうどロードバイクの旅を再開したいと考えていたところ、Twitterで記事を見かけ、応募しました。
- ・朝起きて始業前まで、実走やズイフトを通してロードバイク生活を楽しんでいます。自転車を乗ること自体が好きなのでそんな生活が楽しいのですが、良くも悪くもコロナ禍の影響もあり、生活がマンネリ化しています。少なくともそんな生活が発想にも影響が出ているのではという思いがあったところに、モニター募集をみかけ、面白いかもと思い応募させていただきました。
- ・引越した現在の住まいの周辺が車が多すぎるため、ロードバイクに全く乗ることができなかつたので、自然豊かな土地で思い切り乗りたい。

働き方や移住等への興味（12件）

- ・コロナ蔓延で働き方が一変しリモートワークが主体に。ただ自宅が中心の勤務、今後地方へ移住したりリモートワークなど可能性を試してみるため是非参加させて頂きたい、と思っています。
- ・自転車が好きでテレワークを中心にしており2拠点や移住を検討しているため
- ・コロナで観光収入源が減っている島を色々な意味で応援させて頂きたい。将来の移住も視野に入れて島を楽しみたいです。
- ・現在勤務している株式会社ユーザベースにてフルリモート制を引いており、伊豆大島からも働けることを体現して将来的に地方／離島へ移住できることの証明としたいと考えた事。そして伊豆大島という島自体の文化・自然を体験する事で魅力を発信していきたいと考えており、是非参加したいと思えます。
- ・現在接客業をしていますが、現場を離れて違う働き方を考えるきっかけにしたいと思いました。

その他（8件）

- ・老後のひと時を違った環境で過ごしてみたい
- ・ものすごいチャレンジであると同時にワクワクする取り組みだと思います。もし参加できれば大島の魅力を思いっきり発信していきたいと思えます。
- ・6月退職し、ギター行脚を試行錯誤中です。
- ・楽しそうだったから。知り合いが増える機会になればと思ったから

モニターツアーに参加した場合、どんな時間の過ごし方をしてみたいと考えていますか。【FA】

※FAからキーワードを抽出、カテゴリーごとに分割後、近似キーワードで集約

■ 趣味関連

サイクリング（ヒルクライム、ツーリング、グループライド等）	68
トレッキング（登山）、ハイキング 等	19
マリンスポーツ（ダイビング、スキューバ、SUP、カヤック等）	18
ランニング	17
釣り	11
写真	9
スイミング	5
トライアスロン	3
飲酒	3
キャンプ（BBQ）	3
料理	3
読書	3
自転車以外のアクティビティ	3
星、夜空	2
ドローン撮影、エクササイズ、トレーニング、ヨガ、ギターライブ	各1

■ 仕事関連

仕事と趣味（自転車）の両立、過ごし方の模索、生産性向上	36
島内の様々な拠点（宿泊施設以外）でのモバイル	4

■ 観光関連

島内散策、観光サイクリング	38
食、グルメ（郷土料理、地産物/名産品）	34
自然、景観（三原山、地層、裏砂漠、海 等）	16
島内体験（農業、漁業、林業、調理修習 等）	14
温泉	9
歴史探訪、博物館	各1

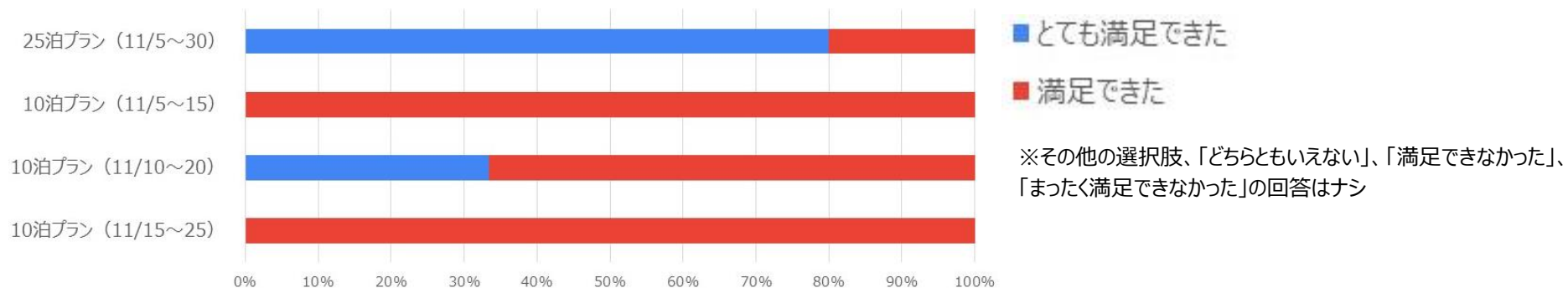
■ その他

地元の方々との交流	48
ワーケーション仲間との交流（ビジネスマッチング）	14
情報発信（SNS、ブログ）	11
大島の地域振興への貢献	4
様々な宿泊施設に泊まりたい	3
今後の生き方の考察	2
自転車観光コース考案 他のサイクリストとの交流 農業、漁業関係の新規サービス企画 他島との移動 伊豆大島と自分の仕事とのマッチング	各1

業種・職種	趣味	モニターツアー参加者の感想
IT企業の広報	トライアスロン	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントに合わせて各地を回っている ・これまでに、京都・沖縄でのフルマラソン、熊本・福岡でのトレイルランニングのイベントに参加する際に、その前後日程で宿泊しテレワークをしていた ・会社でワーケーションが推奨されているわけではないが、ダメともいわれていない。
ITマーケティング	サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークは認められている。ワーケーションは、制度としてはないが前向きに取り入れようとしている。 ・趣味のお金として組合から補助が出る仕組みはあるものの、ワーケーションとして決められているわけではない。
フリーのプログラマー	サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ・本実証実験参加前は、仲のいい友人と共に自転車で東北を周遊し、合間に仕事をしていた。
ITセールスのマネージャー	-	<ul style="list-style-type: none"> ・本実証実験参加前は、Airbnbで1か月沖縄で一軒家を借りてワーケーションをしていた。 ・普段から川越でワーケーションしており、木曜日に友人と都内から川越まで自転車で移動し、週末滞在する。
AIを活用したビジネスのスタートアップ企業に勤務（技術コンサル）	スキー サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ・アドレスホッパーになる予定。 ・特にスキーが好きで、白馬村の近くのゲストハウスに1か月ほど泊まり込み、スキーを楽しみつつ、仕事もする予定。

- 以前からサイクルワーケーションをしている方も多く、ニーズは一定数あり、スポーツワーケーションにおける「サイクルワーケーション」が1つのカテゴリになり得る。
- フルリモートの会社も増えているため（今回はワーケーションが制度として認められていない会社もあったが）、サイクルワーケーション市場は既に形成され、今後、大島でも継続展開できる。
- ワーク環境の課題として、「机の用意（腰が痛くなる、作業スペースをもう少し広げたい）」、「照明（十分な明るさを指定されている企業もある）」、「ネット環境（顔出しでもオンライン会議できる強さ）」が挙げられる。

■今回参加されたプランの総合的な満足度はどの程度でしたか？当てはまるものを一つ選択してください。



どのプラン（日程）も、「とても満足できた」、もしくは「満足できた」と回答し、総じて満足度は高かった。
特に、25泊プラン（11/5～30）の参加者の満足度が高かった。

■ 先ほどお答えいただいた総合的な満足度について、そのようにお答えになったのはなぜですか？理由をできる限り詳細にご記入ください。

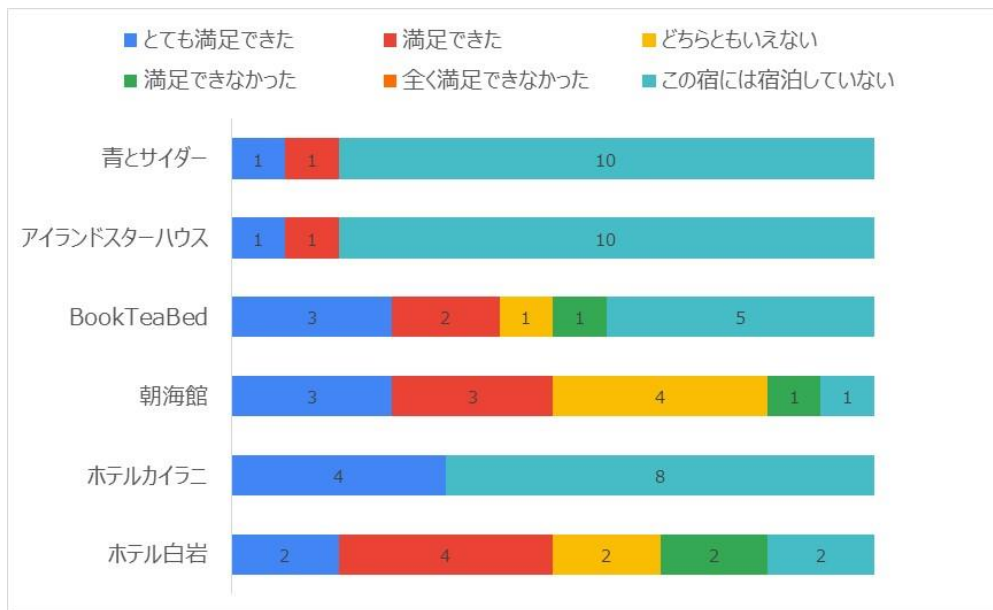
日程	とても満足できた	満足できた
25泊プラン (11/5～30)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕事環境としては難点もあったがサイクリング環境としての魅力が他にないため ■ 伊豆大島という最高のロケーションの中、仕事が滞りなく行えることを個人的にも実証できた事。 ■ 仕事と遊び（主に自転車）をつましく両立することができて満足しています。特に自転車については山と海の両方の景色が楽しめるのに加え、信号がほとんどなく交通量も少ないため非常に快適でした。仕事についてもネットワークさえ通じていればどこでも仕事ができるので基本的にやるべきことはやれましたが、今回ご用意いただいた宿については必ずしも仕事の環境が整っているとは言い切れない状態でした。特に以下の宿については、仕事に集中したい・他人に聞かれてはまずい内容の会議がある場合などはやりづらさを感じました。 ■ 仕事環境は充分でした。島内移動も自転車でできていろいろとまわることができました。参加したメンバーでの交流もバーベキューや一周グループライドでなかなか良かったです。 ■ 伊豆大島に初めて行きました。最初は島風が強いと思いましたが、自転車ライドすると心地良く感じサイクリングに最適と感じました。また海のキラキラとした光もとてもキレイで島中どこをサイクリングしていても最高の景色を味わえました。 	
10泊プラン (11/5～15)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 当初の最大の目的であった、いつもと違う気分転換ができる環境で仕事がしたいという目的は問題なく達成されたため。ただ、宿の質について滞在の品質が大きく異なったためそこだけ少し残念 ■ 基本的には良かったが、宿のWiFi環境が時間帯によっては悪くルーターを使う必要があった ■ プランの出発から終了後まで事務局のサポートが細やかで全体的に満足できました。
10泊プラン (11/10～20)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊豆大島には魅力あるサイクリングスポットが多くあり、長期滞在できてよかった。（もっと長期間滞在したかった） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンビニすらない限られた土地の中で自然を感じながら過ごすことができました。普段生活している首都圏とは正反対の性質の土地に身を置くことで、その土地の風土を体感することができた。 ■ 仕事に関してはテーブル、椅子のない和室では数日間わたる業務遂行は困難に思える、ただし日常生活に関しては床面スペースが有効活用できるので自宅に近い感じでくつろげる。 ■ また食生活に関して長期滞在では栄養バランスが偏りがちになる。 ■ 主な課題と感じるのは離島ゆえの天候に左右される船での移動だった。まさに今回経験したが平日の移動だったため、仕事の調整をして移動日に充てていたが再調整が必要となった。往路復路ともにバックアッププランのある移動方法または移動先でなければ本格的なサービスとして利用するのは難しい。 ■ 移動前準備としてPCR検査が行われたため、イベントのBBQやサイクリングは気兼ねなく行えたのはとてもよかった。半面、現地での炊事洗濯（可能・不可能、洗剤の有無等細かい点も含め）やスーパー、病院や歯医者などの生活情報をより細かく知ることが出来ているとよかった。 ■ ポケットWifiもご用意いただいたが島内はインフラが整備されているため、特に活用はなかった。 ■ イベント(BBQ、一周ツアー)が設けられていたので、飽きず過ごせました。 ■ また、参加者同士で顔見知りが出来て、普段だったら出会えない方々とコミュニケーションを図ることが出来たのはいい機会だったと思います。 ■ 私はロードバイク初心者(今まではミニベロに乗っていた)でしたが、自転車の修理や相談ができる自転車協会の方や他の参加者の方がおり、安心して参加できました。 ■ 天気に恵まれて、沢山走ることができた。 ■ 今回はモニターツアーという事で宿泊先が決まっていたが、宿泊先が選択出来た場合、満足度は更に高かった。
10泊プラン (11/15～25)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 残念ながら天候の影響により地元の方との交流機会の場が持てなかった為、一つ評価を落としております

■先ほどお答えいただいた総合的な満足度は、運営事務局によるツアー期間中のヒアリング時からどのように変わりましたか？



日程	とても満足できた		満足できた	
	期間中ヒアリングのときと「変わらない」	期間中ヒアリングのときよりも「高くなった」	期間中ヒアリングのときと「変わらない」	期間中ヒアリングのときよりも「高くなった」
25泊プラン (11/5~30)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5回宿泊先を変更しましたが、一貫してネット環境に不自由を感じなかったため。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ サイクリング自体の満足度が徐々に上がったため ■ 交流イベントを通して以降情報を共有できました。 ■ ヒアリング後、徐々に島の中で知り合いができ、行動範囲が広がり、島での生活がより一層楽しくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒアリングが比較的后半に実施（4つ目の宿）されたため、あらかた感想が出尽くしていたため満足度は変わっておりません。 	
10泊プラン (11/5~15)			<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒアリングの後日、自転車ではしんどかった場所にレンタカーで回ったのと、ダイビングもする事が出来、伊豆大島の自然の雄大さを実感する事が出来ました。 ■ 多少の問題はあったものの、大きな問題はなかったため。 ■ 期間中に行ったヒアリング後に、参加者が顔を合わせるイベントが2つありましたが総じて満足度は高く不満に思うことはなかったことが変わらなかった理由です 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒアリング後に開催されたイベント(BBQ、一周ツアー)に参加して良かったため ■ イベントで知り合った参加者と期間中の情報交換や交流が良かったため
10泊プラン (11/10~20)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特にありません 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 概ね想定通りに過ごすことができた。自転車を通してコミュニティーを形成いただけるのはとてもありがたいです。また現地で寺本様のアドバイザー & サポート的な役割がいてくださるのが大変心強い。 ■ 今回は自転車というひとくくの集団だったため、今後は参加者のレベル感も統一されているとよりいいものになったと思う。(富士ヒルクライムレースやFTP基準など) 	
10泊プラン (11/15~25)			<ul style="list-style-type: none"> ■ ステータスからの変化がなかった為 	

■ 期間中に利用した宿泊施設に対する満足度はどの程度でしたか？ それぞれ当てはまるものを一つ選択してください。



■ 青とサイダー

「とても満足できた」、「満足できた」が、ともに1件であった。

■ アイランドスターハウス

「とても満足できた」、「満足できた」が、ともに1件であった。

■ BookTeaBed

「とても満足できた」が3件、「満足できた」が2件あった一方で、「どちらともいえない」と「満足できなかった」が1件ずつあった。

■ 朝海館

「とても満足できた」が3件、「満足できた」が3件あった一方で、「どちらともいえない」が4件、「満足できなかった」が1件あり評価が分かれた。

■ ホテルカイルニ

「とても満足できた」が4件であった。

■ ホテル白岩

「とても満足できた」が2件、「満足できた」が4件あった一方で、「どちらともいえない」が2件、「満足できなかった」が2件あり評価が分かれた。



<BookTeaBed>



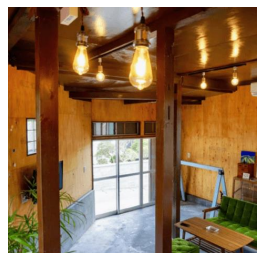
<アイランドスターハウス>



<ホテル白岩>



<朝海館>



<青とサイダー>



<ホテルカイルニ>

先ほどお答えいただいたそれぞれの宿に対する満足度について、そのように選択されたのはなぜですか？理由を、自由にご記入ください。【FA】

ホテル白岩

良かった点

- ・室内からの景色もよく、温泉でサイクリングの疲れも取れたので満足しています。
- ・温泉が良かった。（3件）
- ・WithWork用に仕事部屋を用意いただけた。
- ・食事はうまかった。
- ・ホールの方（男性の方）が非常に感じが良く、白岩に今後泊るとしたらこの人がいるから、と思えるくらい良い方だった。
- ・部屋が広くて眺望も最高でした。
- ・部屋が広くて良かった。

悪かった点

- ・客室にデスクがないことが仕事をするうえでやりづらかった。（2件）
- ・洗濯物が部屋干し。
- ・ホスピタリティーが少し…。
- ・設備が古く、ロビー・廊下・部屋ところかまわずタバコ臭い。また室内の風呂の排水溝のにおいがきつい。
- ・ロビーの人の対応も不愛想であり感じが良くない。
- ・自転車は半屋外保管。
- ・洗濯が高い。乾燥機は400円も払ったのに全然乾かなかった。
- ・ネット（Wi-Fi）環境が悪い（3件）
- ・部屋が喫煙可なので少し嫌だった。
- ・フロントスタッフ(男性2名)の接客に不快感を覚えました。ホテルの口コミを見て、いつもの事なんだなと気持ちを鎮めましたが、ツアーで良い時間を過ごさせていただけに、残念さが際立ってしまいました。

ホテルカイロニ

良かった点

- ・デスクがあり快適。
- ・ガス乾燥機付きの洗濯機があり非常に快適。
- ・十分な広さや設備が整い、波浮港へのアクセスの良さが知らなかったエリアの魅力を感じることができた。
- ・部屋が広くてきれい。
- ・仕事の環境は今回の宿の中で最も整っている。
- ・レストランがありコスパ良い。
- ・ホテルの人の感じが良い。
- ・自転車室内保管できるのも良い。
- ・仕事環境は最高でした。

悪かった点

- ・Zoom会議でWifiテスト、可能だが時々接続が途切れる。
- ・あえて言うなれば、買い物するところがやや遠い。クダッチまで行く必要があり、帰りはそこそこの上りとなるため、徒歩・自転車で重い荷物を運ぶのは大変。

先ほどお答えいただいたそれぞれの宿に対する満足度について、そのように選択されたのはなぜですか？理由を、自由にご記入ください。【FA】

朝海館

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンを利用できるのは良かった。（3件） ・行った目的からすれば、不満が残る宿でした。経済的な旅行で宿に品質を求めないような目的であればいい宿だと思います。 ・ワークデスクがなかった。 ・炊事、洗濯が出来るのは大変助かる。 ・BookTeaBedへの移動日に朝9時から昼3時のチェックインまでの間、カフェ&部屋が使えず外で業務をする必要があった。 ・自転車が屋内に保管できるのはありがたい。 ・マスターがいろいろ気を使われていました。 ・wifi環境は良かった。 ・スタッフの小池さんにとっても良くしていただいた。 ・キッチンを快く貸して下さったり、島についても親身に教えてくださり、とても快適に楽しく過ごせた。 ・ホスピタリティが素晴らしく、また利用させていただきたいと思いました。
悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・客室にデスクがないことが仕事をするうえでやりづかった。（2件） ・Zoom会議でWifiテスト、可能だが時々接続が途切れる。 ・洗濯物が部屋干し。 ・オーナーの配慮により居心地はいいが業務を客室で行うのは困難かと思う。 ・自転車の空気入れがなく合宿的な目的だと宿に空気圧計付きのフロアポンプが欲しい。通常は毎日、洗車、メンテナンス、シューズ洗浄をしているが、あきらめる部分も必要だった。 ・最寄りに飲食店がない ・24H利用可能のお風呂は塩素系が強い。 ・洗濯機、厨房、食堂など自由に使ってよいとのことでしたがどの範囲までを利用可能なのかが判断できず苦慮しました。 ・音漏れが気になります。声や廊下を歩く音、軋み音など。 ・部屋のコンセントの差し込み口がゆるく、支えていないとプラグが落ちてしまう。 ・部屋がホコリっぽく喘息になってしまった。

先ほどお答えいただいたそれぞれの宿に対する満足度について、そのように選択されたのはなぜですか？理由を、自由にご記入ください。【FA】

BookTeaBed

良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoom会議でWifiテストしたが問題なし。 ・アクセスやカフェ併設という観点から快適。 ・部屋がこざっぱりきれい。ベッドは寝やすい。 ・トイレ・シャワーといった水回りの設備が良い。 ・働いている人たちも感じが良い。 ・テーブルはカフェの椅子を貸していただきテレビにPCをつなげることで業務は問題なく行えた。 ・自転車が屋内に保管できるのはありがたい。 ・館内の清潔さ、アメニティー、立地、イレギュラー対応等においてとても満足できました。また来島した際には利用したいと思います。 ・立地も景色も部屋wifiも良かった。
悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・デスクがない。（2件） ・部屋の狭さから来る仕事・食事領域確保の困難さ。雰囲気は一番気に入っています。 ・部屋が狭い。 ・カフェの食事と飲み物がしょぼい（コーヒーはまずい） ・生活面において電子レンジも自由に使えない環境のため業務のために長期滞在では外食やお湯で出来るものが中心となるためストレスに感じた。 ・自転車の空気入れがなく合宿的な目的だと宿に空気圧計付きのフロアポンプが欲しい。通常は毎日、洗車、メンテナンス、シューズ洗浄をしているが、あきらめる部分も必要だった。

アイランドスターハウス

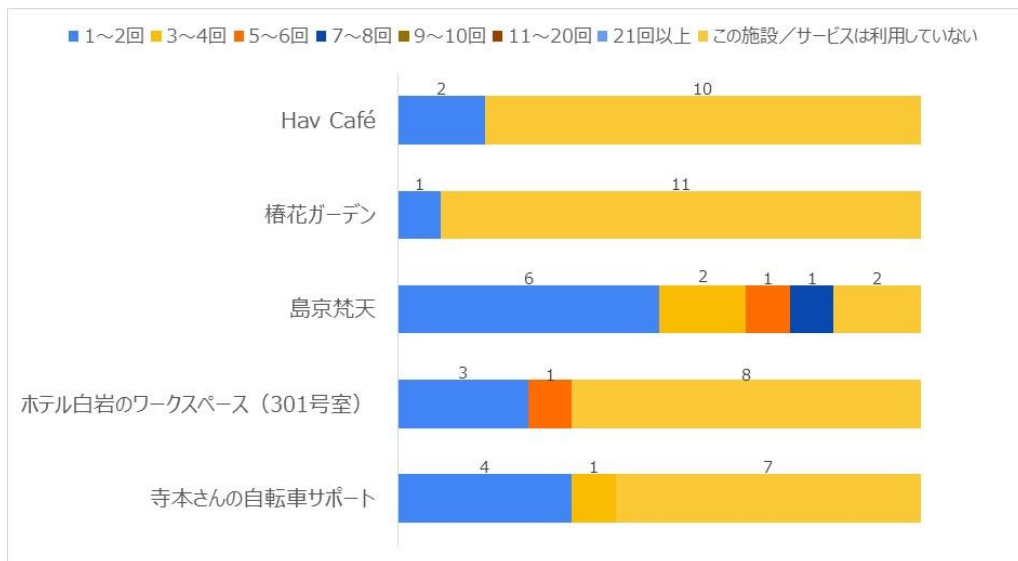
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・宿のご主人のホスピタリティが素晴らしい。お客さんに喜んでもらおう、という気持ちがよく伝わってくる。 ・トイレは2つあり、どちらもウォシュレット付き。 ・お風呂も広く洗濯もいつでもできる。 ・部屋は広く布団も気持ちよい。 ・すごく自然に囲まれて良かった。 ・wifiも良好。
悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事する机と椅子がない。 ・人里離れた森の中なので買い出しなどは不便。 ・自転車は屋根付きだが完全に屋外でやや不用心。 ・不便な場所にある。

先ほどお答えいただいたそれぞれの宿に対する満足度について、そのように選択されたのはなぜですか？理由を、自由にご記入ください。【FA】

青とサイダー

良かった点	<ul style="list-style-type: none">・宿の人たち。家族ぐるみですぐに仲良くなれた。・お風呂も広くて気持ち良い。・商店が隣接しており、簡単な飲み物・食べ物には困らない。・自転車は屋内保管でき、サイクルラック・空気入れ完備。・仕事は商店のスペースが使える。・クロネコヤマトが使えるのも便利。・wifiも良かった。
悪かった点	<ul style="list-style-type: none">・隣の部屋の音が丸聞こえ。うかつにオナラもできないほど。また、風が吹くと宿全体が揺れて不安になる。D I Yは良いが、以前屋根が台風で吹き飛ばされたという経緯もあり、造りがちょっと不安。

■ 提携施設やサービスを利用された方は期間中に使用された回数をお選びください。



最も使用された施設は「島京梵天」(タイ焼きカフェ&古民家ゲストハウス)。続いて、「寺本さんの自転車サポート」、「ホテル白岩のワークスペース (301号室)」となった。



<Hav Café>

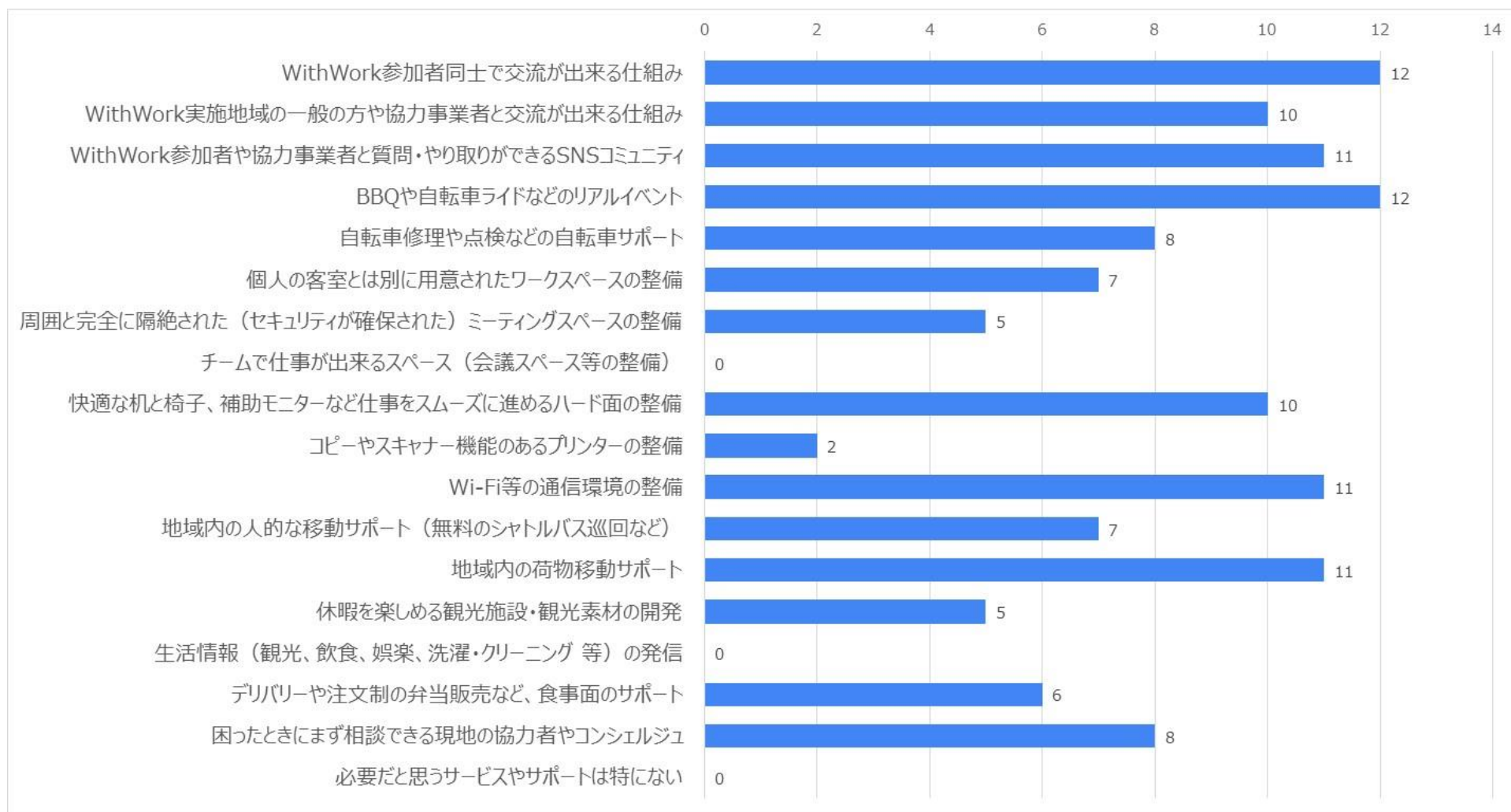


<椿花ガーデン>



<島京梵天>

- テストモニター期間を振り返って、事務局や受け入れ地域でどんなサポートがあるとよいと思いますか？
または、あってよかったと思うサポートはありますか？当てはまるものをすべて選択してください。



コミュニケーションに関わることや、趣味に関わること、テレワーク環境についてなど、ワーケーションの根幹に関わる事項が万遍なく挙げられている。

■ 今後、どの地域で、どんなスポーツ（趣味）と共に取り組んでくれると嬉しいですか？【FA】

地域・スポーツ（趣味）

- 長野（サイクリング・トレッキング）
- 福島（サイクリング・トレッキング）
- 四国、しまなみ海道（サイクリング）：3件
- 日本各地（キャンプ）
- 特にスポーツがなくても自然がきれいな場所で質の高い宿を自分でとるよりリーズナブルに取れば参加してみたいと思います。
- 宮古島（シュノーケル）
- 白馬（スキー）
- 伊豆大島（ランニング）
- 南房総（キャンプ、サイクリング）
- 東北地方での雪中キャンプ
- 五島列島（ワーケーション&バイク）
- 長野山梨（ワーケーション&バイク）
- 千葉県南房総市（釣り）
- 埼玉県秩父（川下り、ラフティング）
- 千葉県一宮市（サーフィン）
- 長野県（スノーボード）

- トレラン、登山、バックカントリー
- スノーボードで新潟、長野、北海道、岩手、秋田があると嬉しい。
- ホエールウォッチング
- スキューバダイビング
- キャンプ:奥多摩
- 100キロハイク

- 自分は関東在住なので、普段なかなか行けない地方で、今回同様自転車イベントがあると嬉しいです。例えばしまなみ海道＋四国や北海道あたりは非常に魅力的です。どちらも一定の宿に宿泊するのではなく、50－100キロ間隔くらいの宿が用意されていて、そこを自転車で移動しつつ2，3日宿泊して仕事もし、また次の宿に移動する、という動き方ができると嬉しいです。
- 自転車においてもジャンルに特化したもの、例えばMTBで長野や北海道などの山中や、ロードバイクで群馬や長野などのヒルクライムコースなどがあるとよりコアなコミュニティが形成できると思います。
- 本業と近いサービス業で他の地域で住みながら働く

対象事業者	モニターツアー参加者受入後の感想
Book Tea Bed	<p>長期間滞在の方には、何かサービスをしたいと思っている。 本町付近は食事に困ることも多いので、朝からやっているカフェは重宝されていた。 この事業の参加者には、朝食の無料サービス、普段は行っていない机や洗濯機の貸し出しを検討したい。</p>
青とサイダー	<p>宿泊棟の隣で経営している商店の一角に設置したテレワークスペースを、本事業の参加者に貸すことも可能。 波浮地域の宿泊施設に滞在している参加者であれば、青とサイダーに宿泊していない方でも利用は可能。</p>
朝海館	<p>洗濯機、洗濯物干しの貸し出し、キッチンの開放</p>
ホテルカイト	<p>洗濯機の貸し出し、デスクとチェアの貸し出し</p>
ホテル白岩	<p>ワークスペース用の専用部屋の用意、一定期間限定の割安な宿泊プランの用意</p>
大島観光協会	<p>課題だと思っていた島内の交通面などが課題ではなくなり、参加者の島内での食事環境など予想もしないことが解決すべき課題として見えた</p>

- 事業者メリットとして、「観光オフシーズンに素泊まりで長期滞在者を確保できること」、「滞在者のプライバシー保護のため毎日の清掃が必要ではない（オペレーションの簡素化が可能）」が挙げられる。宿泊施設側の負担減が魅力となり、今後大島でワーケーション対応を拡大、充実していく上で他事業者からも賛同が得られやすい。

課題 1

グローバル水準のコンテンツを伊豆大島で開発できるのか？

- ・10名程度の応募枠にもかかわらず、170名の応募があった。実施後の満足度はとても「満足 + 満足」で100%。目標としていた満足度を達成した。
- ・今後同様のサービスがあった場合の希望滞在期間は最低でも10泊、最高30泊との結果を得ている。一般にワーケーションは2～3泊程度であることが多いなか、長期滞在でも楽しめることが証明された。
- ・ヒアリングからは、刻一刻と変わる伊豆大島の自然環境は素晴らしく、ライディング体験は大満足であったことがわかった。特に外国人の方は、島という特殊な環境で、島の生活を垣間見できる楽しみも感じていた。
- ・一方で、改善点も見つかった。一つは、ワークに適した環境を整えること。伊豆大島には比較的古い建物が多いため、Web会議に耐えられる速度のWi-Fi環境整備、長時間の作業が可能な椅子や机の整備については、改善要望が多かった。もう一つは炊事洗濯といった生活面での要望。長期滞在の方ほど、衣食に対する要望も多かった。

課題 2

地元プレイヤーにメリットを感じてもらえるのか？

- ・一方、今回のようなスポーツワーケーションは長期滞在が前提になるため、経済的メリットが大きいことは評価されている。
- ・可能な範囲で、参加者特典を提供することには前向きな姿勢を示している。

課題 3

地元住民と国内外のワーカーの交流を作り出せるか？

- ・滞在中の交流イベントや食事が地元の方との交流のきっかけになっていた。
- ・参加者は、地域の方との交流が参加意向の高さに繋がっていた。地域にとっても「課題だと思っていた島内の交通面などが課題ではなくなり、参加者の島内での食事環境など予想もしないことが解決すべき課題として見えた」との意見をいただくなど、双方にとってメリットの多い取組といえる。
- ・配布していたステッカーなどをきっかけに、参加者同士の自発的なコミュニケーションが発生した。SNSグループを参加者の一人が立ち上げ、参加者同士が誘い合うことでコミュニティを形成。一緒に自転車に乗る人の募集や、店の臨時休業の情報を共有するなど、毎日活用されていた。
- ・今回の参加者のうち、ほとんどが自転車に対する知識や好意度が非常に高い人々であった。高関与な趣味領域を、同じくらい楽しんでいる前提があり、自転車をきっかけに交流がしやすかったというコメントも得られた。



上記の結果から、**ワーカーから見た時、その土地でワーケーションする必然性を提案することが有効であることがわかる。**

短期間で楽しめるコンテンツ(イベントなど)のためくる、少し気分転換をしたいという程度の理由であれば、仕事をしなくてはならない平日に来る必要はない。伊豆大島でのサイクリングのように、様々な楽しみ方(コースやエリア)があり、走れば走るほどその醍醐味がわかるようなコンテンツは、何度もかつ長期的にワーケーションする理由になる。結果的に経済性も高くなるといえる。

①伊豆大島におけるサイクルワーケーションの可能性

・これまで様々なサイクルイベントが行われ、サイクリストを集客してきた伊豆大島。今回のモニターツアーに対して、サイクリストの好反応が応募者数およびその属性に現れていた。加えて、「伊豆大島」そのものへの興味度も高く、サイクリストにとって「伊豆大島でのワーケーション」は非常に魅力のあるコンテンツといえる。

・これには、これまで関わってきた「サイクル」との親和性も発揮され、当初から宿泊事業者をはじめとした各事業者の協力をスムーズに得ることができた。サイクルワーケーションではない別のワーケーションでは、別の反応であったのでは？と想像させる部分である。

・一方で、特に事業者にとって、これまで招いていた「サイクリスト」や「訪島観光客」とは若干異なる「ワーカー（ワーケーションをする人）」に対するケアには課題を残した。テレワーク環境（WiFi、ワークデスク、防音環境の確保 等）や生活面の充実（家事の自前環境、コンシェルジュ的存在 等）がこれにあたる。

・今回の参加者が共通して期待し、実行していたこととして「同じワーカーや地元の方々との交流」がある。テレワークという個人の時間確保が重要である過ごし方である一方、趣味を通してコミュニケーションを活性化させたいという欲求を満たす改善は必須である。

②他地域におけるスポーツワーケーションおよびサイクルワーケーションの拡張、発展について

・サイクルワーケーションという点において、今回の事業において知見の積み上げができたため、テレワーク環境というハード面の整備は他地域における受入環境整備として、あらかじめ取り組むことは難しくないであろう。

・今回の事業をひとつの実証事例として「〇〇〇〇ワーケーション」を拡張、発展させてスポーツワーケーション全体として推進していく知見となった。したがって、サイクルワーケーションを他地域で展開することは、コンサルティングを含めて可能である。

・むしろ、「〇〇〇〇ワーケーション」の「〇〇〇〇」の部分を設定するうえで、当該地域の当事者を含めたコンセンサス、親和性が重要。

③スポーツワーケーションの今後の課題

- ・当該地域にとって有効な「スポーツ」とは何か？と、「ワーケーション」への理解度を高めること。
- ・当該地域の当事者とのコミュニケーションを経て、共通理解を得ること。
- ・当該地域の主体性の確保。
- ・「スポーツ」部分のコンテンツ作り（当該スポーツにおける参加者レベル別を含む）。
- ・「ワーケーション」環境の整備。
- ・長期滞在を踏まえた生活面の整備（参加者と地域のコミュニケーション醸成手法）。

④「WithWork」事業の今後の展開案

・本事業は当初、スポーツワークーションに特化した宿泊施設をまとめた『宿泊予約サービス』としてローンチすることを検討していた。しかし、今回得られた三つの学びから、『コミュニティサービス』として、ビジネスモデルを見直し、来年度以降展開していこうと考えている。

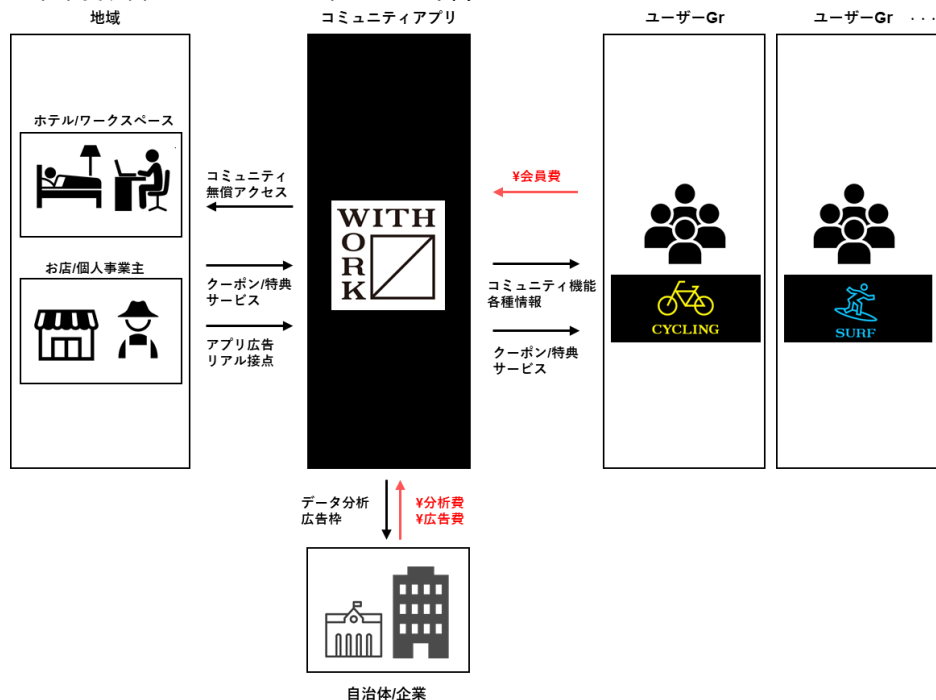
三つの学び：

- ①高関与な趣味・スポーツを持っているワーカーは、趣味を通じて人と繋がりたい、強い欲求（≒理由）がある。
- ②その繋がりがもたらすのは、満足度と、希少性の高い地域の情報交換である。高関与であるがゆえ、通常よりも頻繁かつ精度の高い情報交換が行われる。情報には、路面情報や店の営業情報といった、参加者に有益な生活情報もあれば、ライドの満足度や生活要望といった地域事業者にとって有益な情報も含まれている。
- ③宿泊施設によって、提供できるサービス内容や予約ポリシーは大きく異なる。よって、宿泊施設をパッケージ化するうえで不可欠となる一律的な対応や特典の提供が困難。

上記を踏まえ、具体的なビジネスモデルを以下に記載する。

コミュニティ機能を有するアプリケーションを開発し、基本的にはアプリケーション使用料（≒会員費）から収益を得るモデルとしていく。

▼来年度以降のWithWorkビジネスモデル（案）



公式ホームページ

WITH ORK CYCLING

好きを貫中に、働いて暮らそう。

WithWorkとは？

好きなことを仕事にできる環境に活動しながら暮らす。地域と繋がることができる。会員制のスポーツワークショップサービス。

ユーザーの喜び

- 好きなことに専らって働きたい！
- スポーツ観戦に家族連れで参加したい！
- ワークショップでスキルアップしたい！

地域の喜び

- 地域とつながりながら暮らしたい！
- ワークショップを通して地域貢献したい！
- 地域活性化のきっかけを作りたい！

お問い合わせ先

株式会社マインドシェア 担当：相田(マダマ)

TEL：03-6823-6430 受付時間：平日10時～18時

Mail：info@with-work.jp

プレスリリース

PR TIMES

観光地の新たな滞在期間利用として会員制「スポーツワークショップ」の実証実験を開始 伊豆大島のサイクルワークショップ

株式会社マインドシェア

2021年10月18日 10時00分

株式会社マインドシェア(本社：東京都港区、代表取締役：相田雅樹)は、スポーツ庁から委託した「スポーツによるローカルコンテンツ創出事業」として、サイクリングの強み 伊豆大島(静岡県伊豆市)においてスポーツワークショップに特化したモニターを募集し、実証実験「(サイクリング) WithWork 伊豆大島」を開始しました。

「WithWork」とは、趣味のスポーツを思う存分楽しむ地域に高級滞在しながら仕事に就けるプログラムで、観光地と平日・オフシーズンの平準化を図りながら観光地と趣味と仕事を両立させたい観光客のシチュエーションをターゲットとしたサービスです。

WithWorkの会員には、滞在地域のイベントや地域活動など地域との交流のきっかけとなる情報を積極的に提供し、旅行が観光地を訪れるだけで終わるのではなく、滞在期間中の滞在体験も盛り込むことで、滞在と旅行の新しい可能性を創出していきます。本モニターは、中長期の滞在と地域と繋がる機会を、思いきやかに実現できるようなプログラムです。地域の強みやWithWorkの考え方に共感し、参加したい方にぜひ参加いただきたく考えています。

「WithWork」では今年夏の実証実験の結果を踏まえ、来年度以降は本格展開を計画しています。

(伊豆大島の声)

一般社団法人大島観光協会 事務局 相田 雅樹氏

伊豆大島は観光シーズンを過ぎると寂寂としてしまし、イベントを行うにしても、土日も限られてしまつたので、観光客の平日にも来てもらえるような取り組みはとてほしいと思う。まさに、地元の文化や観光資源、地域とつながりながら暮らすことができるような新しい取り組みによって、経済的な効果が期待できるのではないかと感じている。

マニュアル

WITH ORK CYCLING

WithWork伊豆大島 サイクルワークショップ

モニターツアー参加者用マニュアル

到着

集 (集合)	10:15
	10:30

地図-3

参加者名簿

お問い合わせ先

WithWork事務局 担当：相田(マダマ)

TEL：03-6823-6430 (上記は通話料がかかる場合があります)

Mail：info@with-work.jp

スポーツによるグローバルイベント創出事業「WithWork伊豆大島」実証実験 宿泊事業者様向け事業説明書

お問い合わせ先

株式会社マインドシェア 担当：相田(マダマ)

TEL：03-5232-6866 (営業時間：平日10時～18時)

Mail：info@helwork-project.jp

2021/10/20

ステッカー

WITH ORK CYCLING Izu Oshima, Tokyo

WITH ORK CYCLING Izu Oshima, Tokyo

私たちはWithWorkに参加しています。